

厚生労働省

平成26年度重症心身障害児者の地域生活モデル事業
安心して暮らせるための地域支援体制の充実に向けて

平成27年3月19日(木)

浜松市社会福祉事業団

浜松市発達医療総合福祉センター

当事業団における事業概要・目的・内容

協議会とコーディネーターの設置	当事者団体代表者・医療・福祉・教育・行政関係者等毎回約40名前後で3回開催	
	当センターの相談支援専門員(社会福祉士)1名および相談支援専門員の資格を持つ保健師2名をコーディネーターとして設定	
家族支援事業	きょうだい会	障害をもつ子どものきょうだい同士の交流の場を提供
	らっこちゃんグループ	重症心身障害児をもつ保護者の早期育児支援グループ
	さんぽ会	在宅医療ケアを必要とする子どもと家族の外出支援
	障がいをもつ子と家族のためのサバイバルキャンプ&防災ワークショップ	『みらいTALK』主催の企画に福祉避難所の場所・物品提供として共催
在宅重症心身障害児者支援者養成研修	静岡県小児在宅医療技術講習会	医師、看護師等を対象に小児在宅医療の知識の普及
	小児ケアコーディネーター会議	実数調査・地域連携シート作成・今後ケース会議を通してスキル向上
その他	調査・研究	地域連携シート作成
		重症心身障害児の育児に関わる保護者へのPSIの実施
	静岡県西部における重症心身障害児者への診療所の関わり質問紙調査	
普及・啓発	講演会3回(福祉関係・虐待関係・当事者関係)	

協議会

協議会構成員		協議会開催状況		
当事者団体関係者	肢体不自由児親の会、重症心身障害児(者)を守る会、ぞうさんの会、手をつなぐ育成会(浜松、浜北)	第1回	平成26年6月27日(金) 19時～21時	参加者:48名 在宅医療の現状
医療関係者	磐田市立総合病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、天竜病院、浜松医科大学附属病院、浜松医療センター、在宅支援診療所、訪問看護ステーション		第2回	平成26年10月24日(金) 19時～21時
福祉関係者	小羊学園、天竜厚生会、ハーモニー、光の園、福浜会、当事業団	第3回		平成27年2月27日(金) 19時～21時
教育関係者	聖隷クリストファー大学、西部特別支援学校、浜北特別支援学校、浜松医科大学、浜松市教育委員会		行政関係者	磐田市、湖西市、浜松市

これまでの会議(協議会)で挙げた意見 (赤字は今年度挙げた意見)

- ①地域移行の難しさ
- ②コーディネート役の不在
- ③アウトリーチ不足(保護者も診てもらいたい)
- ④キャリアオーバーの問題(主治医が変わる不安)
- ⑤緊急時ショートステイ不足
- ⑥放課後支援の不足
- ⑦利用できる資源がわかりにくい(医療ケアがあると受け入れ先が少ない)
- ⑧訪問看護・訪問介護・移動支援が学校に入れられないなどの福祉サービスの制限
- ⑨行政間や地域間格差
- ⑩学校に通えない(人工呼吸器管理の子など)
- ⑪様々な理由で学校に保護者が待機しないといけない

小児ケアコーディネーター会議

目的：医療的ニーズの高い小児の在宅移行・地域生活に当たって、支援体制の強化を図る

- 連携の強化：在宅移行するに当たってサービス調整や相談役となる職種が互いに顔の見える関係となる
- 質の強化：入院した医療機関や居住地域に関わらず一定のサービスを漏れなく提供できるようにする（地域連携シート）、支援方法のスキル向上（ケース検討等）
- 数の強化：新たな医療相談員（MSW）や相談支援専門員の育成、将来的には訪問診療・訪問看護・訪問介護の更なる普及を目指す

小児ケアコーディネーター会議

【参加機関名】

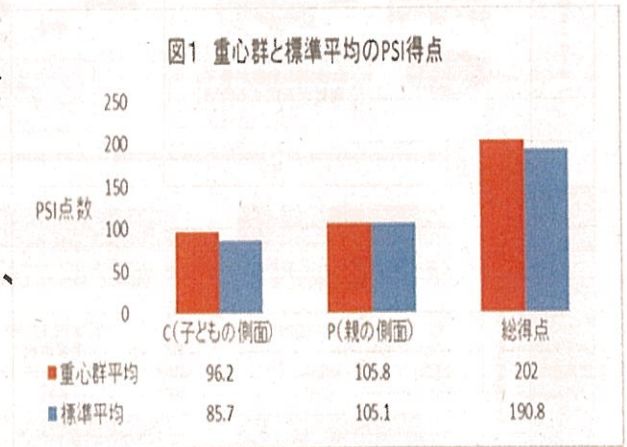
- 聖隷浜松病院
- 聖隷三方原病院
- 浜松医科大学付属病院
- 浜松医療センター
- 訪問看護ステーション浅田
- 訪問看護ステーションあすなろ
- 訪問看護ステーション住吉第二
- 温故療院
- 相談支援事業所ひがし
- 相談支援事業所アグネス
- 相談支援事業所シグナル
- 相談支援センター浜松南
- 浜松市健康増進課
- 浜松市障害保健福祉課
- 浜松市発達医療総合福祉センター

開催状況

開催状況	開催状況	開催状況
第1回	平成26年6月17日(火) 18:00~20:00	参加者:22名 小児在宅医療の現状(実数把握)と課題
第2回	平成26年10月15日(水) 13:30~15:00	参加者:18名 連携シートについて 浜松版試案(1)
第3回	平成26年12月18日(水) 13:30~15:00	参加者:16名 連携シートについて 浜松版試案(2)
第4回	平成26年2月18日(水) 13:30~15:00	参加者:12名 連携シートについて 浜松版試案(3)
訪看協議会	平成26年10月20日(月) 20:00~21:00	連携パス(チェックシート)浜松版試案について説明・検討

重症心身障害児の育児に関わる保護者への育児ストレスインデックス (Parenting Stress Index: PSI) の実施

- 対象: 当センター利用中の9名の重症心身障害児の母親
- 方法: 重症心身障害児群と標準平均群、医療ケアの「あり」群と「なし」群、核家族群と祖父母同居家族群で比較
- 結果: 医療ケア「あり」群(4名)が「ない」群(5名)に比べて「子どもの側面」のPSI得点が優位に高かった。核家族群(5名)と祖父母同居家族群(4名)の比較では、祖父母同居家族群において「親の側面」のPSI得点が優位に高かった。



静岡県西部における重症心身障害児者への診療所の関わり質問紙調査

- 対象: 静岡県西部(大井川以西の7市・1町)にある無床診療所768件
- 方法: 質問紙を郵送
- 結果: 243件(回収率31.6%)の回答を得た

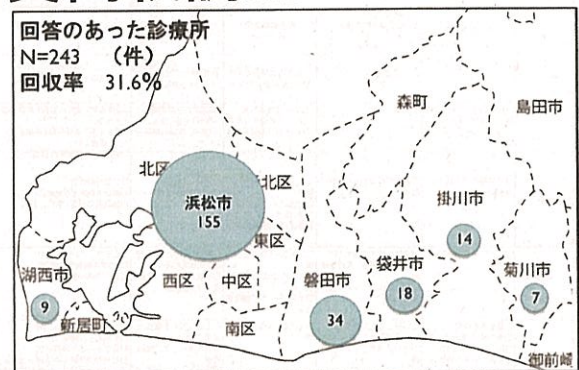


図1. 回答のあった診療所の分布

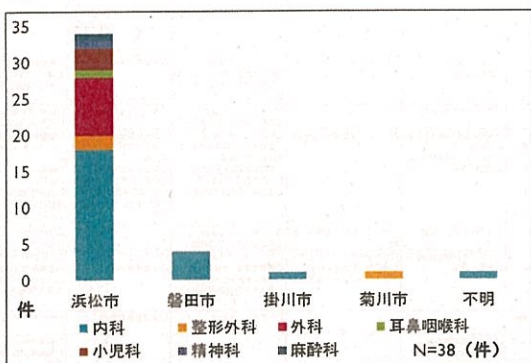


図3. 回答のあった在宅支援診療所の市町村と診療科

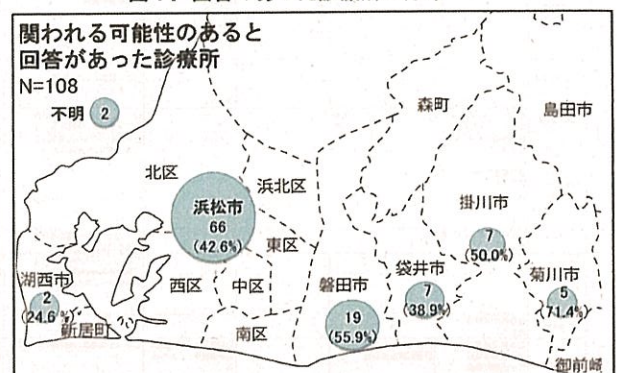


図5-2. 今後重症心身障害児者の診療に関わることのできる可能性について(地域分布)

静岡県西部における重症心身障害児者への 診療所の関わり質問紙調査

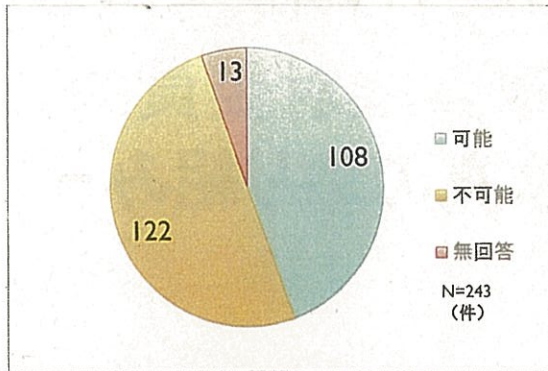


図5. 今後重症心身障害児者の診療に関わる
ことのできる可能性について

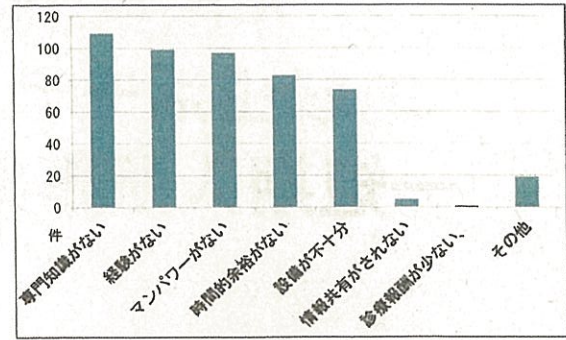


図8. 重症心身障害児者診療にが困難な理由
について

	全年齢	小児のみ	成人のみ	合計
予防接種	65	14	22	101
健診	40	12	22	74
感染症	56	13	26	95
専門	69	11	22	102
全身管理	21	1	12	34
訪問診療、往診	29	1	14	44

表1. 対応可能な重症心身障害児者の年齢、
診療行為について

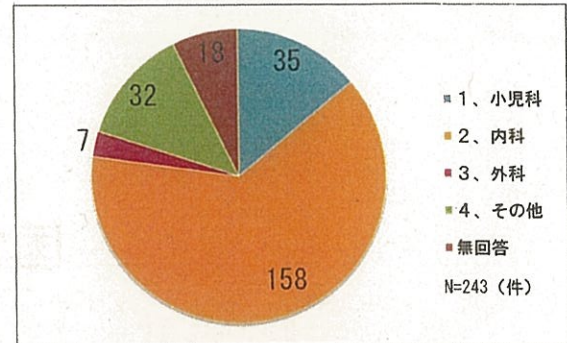


図12. 18歳を超えて重症心身障害者になった
際の適切な主治医の診療科について

モデル事業後の方向性

今年度

- 協議会
- 小児ケアコーディネーター会議
- 家族支援事業
- 普及啓発事業

将来

- 重症心身障害支援センター
(小児在宅医療支援センター)
の設立
- 訪問診療・訪問看護・訪問介
護・訪問リハ・訪問療育の充実
- 教育機関との連携向上

次年度以降

- 自立支援協議会の部会設置
- 勉強会(研究会?)
- 小児ケアコーディネーター会議
 - 地域連携シートの運用
 - ケース検討
- 家族支援事業